

光星野 柴田好 全国へ

全国高校バスケットボール選手権

全国高校バスケットボール選手権（ウィンターカップ）出場を懸けた県予選は最終日の24日、むつ市のむつマエタアリーナで男女の決勝を行った。男子は八戸学院光星が86-77で柴田学園を破り2年ぶり4回目、女子は柴田学園が95-76で八学光星を破って2年連続16回目の優勝をそれぞれ決め、全国高校選手権出場を決めた。

男子の八学光星は9点を追う第4クォーターに猛反撃を見せた。3点シ

ユートを効果的に決め、相手の倍以上となる31点を挙げ試合をひっくり返した。女子の柴田学園は司令塔の中三川がチームをけん引。長身の2年生コンビの佐々木、秋谷が勝負どころでゴールを決めて突き放した。全国高校選手権は12月23日から、東京都内で始まる。（工藤弘之）



【男子決勝・八学光星 柴田学園】第3クォーター、成田（八学光星）がシュート

体力気力上回る
○：男子の八学光星は柴田学園相手にリードを許したものの、第4クォーターに入るとリバウンドを拾ってチャンスにつなげ、持ち前の走るバスケットで逆転勝ちした。佐々木コーチは「相手の体力

が落ちる最後のところで、うちは粘り強く戦い抜くことができた」とスタミナや速さを勝因に挙げた。中心選手の今は、全員が最後まで切れなかったことも大きいと振り返り「第4クォーターで逆転し、少しリード

しても『まだ0-0』と自分に言い聞かせて最後まで戦った」。勝利を信じる気持ちだが、相手を上回ったと強調した。